

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	乳幼児等保健相談事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	乳児等保健相談事業	事業番号	1101		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	1	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	母子ともに安心して子育てができる環境づくりを構築し、育児仲間の繋がりを図ることができる。
Plan(事業概要・計画)	
<p>智頭町で母子ともに安心して健やかに育つことができるように支援をするため乳幼児健診、子育て講座などを開催する。</p>	

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額				770,688円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	乳児健診受診率	%	98.9	100	100	101%
②	離乳食講習会参加率	%	62.5	70	53.3	85%
③	子育て講座の受講率。（子育て支援センターと福祉課共催）	組	3	4	6	200%
実施内容 <ul style="list-style-type: none"> 乳児健診（3～4か月児健診、6～7か月児健診、9～10か月児健診）の実施 3～4か月児健診、9～10か月児健診は、集団健診、医療機関健診ともに実施。6～7か月児健診は、集団のみ。 2か月に1回（年6回）離乳食講習会を実施。以後、各乳児健診で栄養相談を実施。 子育て支援センター利用者等に子育て講座を実施（子育て支援センターと福祉課共催）。 全出生児に対して赤ちゃん訪問を実施（R2は27件実施）。 必要時、訪問、面談、電話相談等で保護者の子育てに関する不安や相談に応じる。 						

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題 <ul style="list-style-type: none"> 健診も講習会も新型コロナウイルス感染症対策をして開催している。仲間づくりの場ともなっている。健診受診率は100%を達成。 離乳食講習会は新型コロナウイルス感染症予防のため中止にした回もあり、例年と比べ参加率は低かった。 子育て講座は保健センターで開催しても参加者が少ないため、子育て支援センターと共催で実施。新型コロナウイルス感染症予防のため参加人数を限定して実施。子育て支援センターは自粛生活への不安、不満からか利用者は多い様子。 						

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：母子保健上、重要な事業である。1人ひとりに丁寧に対応し、健診率等につながっている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き乳児健診受診率100%を目標に、集団健診の毎月開催と、医療機関健診の併用により、保護者がより受診しやすい体制を継続する。 乳児健診未受診者には訪問等で受診勧奨を実施するとともに、家庭環境の把握を行う。 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、子育てをしている保護者等に対し啓発や講話等を行い、乳児等の健康づくりにつなげる。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	幼児健康診査事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3
事業（細目）名	幼児健康診査事業	事業番号	1845		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	2	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	母子ともに安心して子育てができる環境づくりを構築し、育児仲間の繋がりを図ることができる。
Plan(事業概要・計画)	智頭町で母子ともに安心して健やかに育つことができるように支援をするため幼児健診を実施する。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			674,817円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	1歳6か月児健診	%	100	100	97.2	97%
②	2歳児歯科健診	%	100	100	94.1	94%
③	3歳児健診	%	94.7	100	97.0	102%
実施内容 ・母子保健法に基づき、1歳6か月児健診と3歳児健診を年4回ずつ実施。 ・智頭町は乳幼児の虫歯罹患率が県内ワースト1位で推移しており、歯科保健対策を強化する必要がある。そのため、2歳児歯科健診を令和元年度から単独実施し、歯科健診に加えて、歯科衛生士による講話と歯科指導、フッ化物塗布を実施している。2年度からは管理栄養士による講話も取り入れてより充実した内容としている。						

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題 ・健診受診率がなかなか100%にならない（実数は未受診1名程度）。 ・歯科保健対策における普及啓発活動の継続・強化。						

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：受診率は90%を超え、評価出来るが、歯科部門はより充実が必要				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	・健診未受診者の保護者へ健診の必要性を伝え、受診勧奨を行い、受診率100%を目標とする。受診できない理由や家庭の状況等を訪問等で把握し、必要な支援を行う。 ・歯科保健対策の重要性を啓発し、虫歯罹患率を少しでも下げするための活動を充実させていく。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	安全安心な学校給食の提供	所属	給食センター	SDGs	1・2・4	
事業（細目）名	学校給食費 / 食育推進事業	事業番号	1215 / 1869			
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	①健康	事業番号	3	連番	37

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活における食事について、正しい理解と習慣を養い、学校生活を豊かにし、学校給食を通して明るい社交性を養う。 2. 学校給食に使用する食材の点検及び職員の健康チェック（毎日） 3. 職員の健康チェック（毎日） 4. 衛生管理の徹底（職員の検体：月2回）

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			51,931,513	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	学校給食（小学校）	回	168	183	183	109%
②	学校給食（中学校）	回	157	174	174	111%
③						
実施内容	(1) 年間の給食実施回数、小学校は183回、中学校は174回を上限とし、1食単価、小学校276円、中学校316円で運営している。					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	大きな事故、食中毒等もなく、安全で安心な給食が提供できた。今後も、衛生管理には、十分気をつけ、安全で安心な給食を提供できるよう努める。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 地産食材を活用しつつ安全安心な給食を提供している。食品残渣も減少している。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
(1) 大きな事故、食中毒等もなく、安全で安心な給食が提供できた。令和3年度も、衛生管理、職員の体調管理には十分気をつけ、安全で安心な給食を提供できるよう努める。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	調理機器等の計画的な更新	所属	教育課	SDG s	3・12
事業（細目）名	学校給食費	事業番号	1215		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	①健康	事業番号	4	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	1. 調理機器の整備（年1回業者に委託） 2. 釜5個を計画的に更新する。 3. 調理機器を購入して15年経過していることから、不具合が生じた機器から更新を実施していく。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額	17,021,845			
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
① 調理機器の点検	1回	1	1	1	100%
② 調理機器の更新	個	1	0	0	0%
③					
実施内容	①毎年、調理機器の点検を年1回実施。点検の結果、何度か修繕を繰り返し使用してきたが、来年度、米飯機を更新する予定。 ②釜5個の内3個は更新済み。H29、H30、R1年度更新。令和2年度は、調理場にエアコン設置のため、1年計画をずらす。残り2個は来年度、再来年度と更新予定。				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・給食用設備の経年劣化により年次的に維持管理が困難となっている。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 什器類の定期メンテナンス、不具合時の迅速な対応ができています。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	(1) 米飯機は、数年前から不具合が生じる事が多く、修繕を重ね使用してきた。しかし、今年度も、故障が発生し、修繕したが、違う箇所が故障し、費用が掛かるので、来年度更新するのが良いと判断した。 (2) 釜5台のうち3台は更新済。R2に1台更新する計画が、調理室エアコンの設置を優先したため、釜1台に不具合が生じ修繕した。（設置業者が廃業。町内1業者しか対応できない状態。部品が1個しかない状態）R3は1台は更新したい。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	中学校の部活動の充実	所属	教育課	SDG s	4
事業（細目）名	中学校教育振興事業/事務局費	事業番号	1188/1382		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	7	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	中学生がよりよい環境で部活動を行えるようにする。
Plan(事業概要・計画)	<p>マイクロバスおよび普通乗用車の運行、管理を行う。</p> <p>部活動の大会、遠足などの送迎を行い、事業の手助けをする。</p> <p>部活動指導員・外部指導者を配置し、専門的な技術指導を行う。</p>

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			4,835,426	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	使用回数	回	102	75	75	74%
②	総乗車人数	人	2038	1600	1600	79%
③	部活動指導員・外部指導者数	人	3	4	5	133%
実施内容		<p>申請に応じて部活動の大会、遠足などの送迎を行う。今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため回数、利用者数が大きく減少している。</p> <p>希望がある部活動について、国・県の補助金を活用しながら指導員・外部指導者を配置する。</p>				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため回数、利用者数が大きく減少していたが、感染症の広まりが落ち着いてくるとともに利用が増加している。</p> <p>指導員・外部指導者を配置した部活動では技術力が向上し、県大会等への進出も多くみられる。</p>				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：専門的な指導により生徒の技術・能力も向上している。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	<p>R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画</p> <p>マイクロバス運行については、運営形態を見直し、より効率的な人員配置、運用方法を検討する。</p> <p>外部指導者については、単独指導・引率が可能な指導員への転換を視野に学校・指導者さんと調整を行う。</p>

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	食育の推進	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	健康教育事業	事業番号	1109		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	8	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	食育の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭町の郷土料理を掘り起こし、1冊の冊子にまとめて次世代に継承していく。 ・学校給食を生きた教材とし、未来を担う子どもたちに正しい食教育を行う。

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)		R2実績				67,507円
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	智頭町の郷土料理の掘り起こし	人	6	6	6	100%
②	「智頭の食人」の普及啓発	人	0	50	141	#DIV/0!
③	学校給食の提供	人	411	419	419	102%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭町の食に携わる方からヒアリングを行い、毎月「智頭の食人」と題して広報紙へ掲載。 ・10/30、12/12に智頭町食生活改善推進員へ普及啓発し、伝達講習として各地区住民に啓発（5回実施）。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・食育アドバイザーである智頭町食生活改善推進員と連携して、地域住民へ郷土料理の継承を行うことが出来たが、働き世代や若者世代への普及啓発はできていない。 ・栄養教諭等の専門職のいない保育園給食への介入が必要。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：食育基本法に基づき、活動出来ているが、若年層へも拡大が必要				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	<p>R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・智頭町の郷土料理を広く継承するために、「智頭の食人」を小中学校等で家庭に配布してもらう。 ・栄養教諭等のいない保育園での食育推進のために、毎月訪問して栄養教育を実施する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	健康相談事業	事業番号	1108			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	9	連番	42

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	町民の健康づくりを支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・電話、来所、集会などの場での健康相談（随時） ・肝炎ウイルス検査での陽性者への定期検査の受診勧奨と状態把握。

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)		R2実績				5,000円
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	電話相談	件	39	40	40	103%
②	来所相談	件	8	40	40	500%
③	肝炎ウイルス陽性者定期検査受診勧奨	件	48	47	47	98%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談、来所相談（随時） ・ひまわり会や老人クラブなどでの相談（随時） ・肝炎ウイルス検査陽性者（47名）への受診勧奨通知。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症のため、集会の中止が多く、相談を受ける機会が減少している。 ・昨年度の事業のフォローでの来所相談を持っている。 ・新型コロナウイルス関連の相談も対応した。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：件数は少ないが、個別対応は重要であり、丁寧な対応が来ている				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染状況によっては大人数での集会などの開催は難しいため、一度に多くの相談を受ける機会を増やすことは出来ないかもしれないが、その分個々の相談をしっかり対応していきたい。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談	所属	福祉課	SDGs	3,11	
事業（細目）名	健康教育事業	事業番号	1109			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	9	連番	42

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	生活習慣病の発病予防、重症化予防
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防教室やOB会「ブルーリボンの会」の実施（10回） ・ウォーキング教室の開催（2回）、各地区健康ウォークの開催（6回） ・温水プールを利用した健康づくりの支援に対する利用費助成

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)	R2実績				999,65円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	糖尿病予防教室の開催	延人	68	70	/	103%
②	OB会「ブルーリボンの会」の開催	延人	40	45	36	113%
③	ウォーキング教室の開催	延人	91	100	191	110%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の糖尿病予防教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ・ブルーリボンの会は調理実習は中止とし、運動と血糖自己測定による学習教室の開催を行う（2回）。 ・ウォーキング教室はサポーターのみの教室の開催と、各地区での健康ウォークを開催する（7回）。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防の生活習慣改善を習慣化するためのOB会は住民からのニーズもあり好評なため、感染対策を徹底して今年度もう1回実施する。 ・各地区健康ウォークが公民館主体で実施できた。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：健康寿命の延伸のために発病予防、重症化予防を行う健康教育事業の継続は重要。教室終了後もOB会を支援するなど地域への活動ができている				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	<p>R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防教室の対象者はリスクの高い者を優先し、コロナウイルス感染対策を講じたうえで来年度実施。 ・調理実習ができない場合を想定して、栄養教育の内容を検討する。 ・食生活改善推進員の減少、高齢化の課題を解決するため、養成講座を開講して新たな会員を獲得する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	健康診査事業	事業番号	1110			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	9	連番	42

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	主に生活習慣病の発病予防、早期発見、重症化予防を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上の国保加入者に対し特定健診、一定年齢以上の町民に対しがん検診を実施。 ・40歳～69歳の町民に対し人間ドックを実施。 ・40歳～59歳の町民に対し脳ドックを実施。

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)		R2実績			32,172,568円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	肺がん検診受診率	%	32.4	33.0	31.3	102%
②	胃がん検診受診率	%	28.0	28.5	24.7	102%
③	肝炎ウイルス検査受診者数	人	32	70	69	219%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・受ける機会を持ちやすいように、医療機関での個別健診と集団でのセット健診を実施。 ・いづれの健診も無料で受けることができる。（人間ドックと脳ドックは個人負担あり） ・対象者を絞って未受診者勧奨通知を発送。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症のため、受診控えの傾向があり、一部の検診では受診率が減少している。 ・肺がん検診は受診可能医療機関を拡大したため、昨年の同時期より受診者数が増加。 ・肝炎ウイルス検査の未受診者への勧奨通知を発送し、例年より受診者が増加。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：健康寿命の延伸のためには疾病の早期発見・早期治療が重要であり、健康診査事業は重要である。未受診者勧奨や受けやすい体制づくりが必要				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	<p>R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年希望が多く、抽選をしている「脳ドック」の定員を拡大。壮年期より自覚を促す。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	訪問指導事業	事業番号	1114			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	9	連番	42

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	町民の健康づくりを支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・食事指導や特定保健指導勸奨のため訪問（随時） ・健診事後フォローのための訪問（随時） ・がん検診の精密検査受診勸奨のための訪問（随時）

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)	R2実績					420,793円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	食事指導や特定保健指導勸奨、健診事後フォロ	件	73	70	62	96%
②	がん検診の精密検査受診勸奨のための訪問	件	104	110	114	106%
③		件				#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の結果により、訪問して個々にあった食事指導を行う。（随時） ・特定健診を受けた後のフォローや、特定保健指導が必要と診断された人への利用勸奨のための訪問（随時） ・各がん検診の結果、精密検査となった人に訪問して、説明、受診勸奨を行う（随時） 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症のため、受診率が減少の影響もあり、訪問対象者も減少している。 ・訪問して説明することで、必要性などの自覚を促すことが出来ている。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：直接対話し説明することは効果があり、今後も継続が必要である。時間もかかり効率性には欠けるが、丁寧に行う必要がある。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問することで強く自覚を促すことが出来るので、必要に応じて今後も丁寧に実施。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	介護予防事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3, 11
事業（細目）名	介護予防普及啓発事業	事業番号	2038		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	10	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	介護予防の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防の一環として、認知症予防のための教室開催

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)						1,022,421円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	脳の健康教室参加実人数	人	23	23	24	104%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> くもん式脳の健康教室を9/1～11/24と、12/1～2/16までの2クール実施。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> いずれのクールも教室運営に適切な人数の参加者が集まった。 運営に携わる学習サポーターとの意見交換も積極的に行えた。 参加者の満足度は高く、教室卒業者が参加する「いきいき脳元気教室」に参加する人も1/3程度いた。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：認知症予防の取り組みとして、参加者の満足度が高い。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> R3も、現行の開催回数を維持する。 自発的な参加者だけでなく、日ごろの関わりから認知症予防が必要と考えられる住民に教室参加を積極的に働きかける。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	介護予防事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3, 11
事業（細目）名	地域介護予防活動支援事業	事業番号	2039		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	10	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	介護予防の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防活動の地域展開を支援。 ・認知症予防のための教室開催支援。 ・森のミニデイ、集落ミニデイの実施（委託）。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			8,492,600円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	いきいき脳元気教室参加延人数	人	999	1000	944	94%
②	森のミニデイ実施箇所	箇所	6	6	6	100%
③	集落ミニデイ実施箇所	箇所	39	39	37	95%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の通いの場の支援 いきいき脳元気教室の開催支援。森のミニデイ事業・集落ミニデイ事業を委託して実施。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、活動を休止した時期もあったが、それ以外は住民主体の通いの場の活動を計画的に実施できており、住民の介護予防の一助となっている。 ・介護予防に資するボランティアの育成及び活動が必要だが、検討が進んでいない。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：コロナのため中止もあったが、活動出来た。今後介護予防活動支援をより効果的に行うため、介護予防ボランティアの活動が必要である。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の住民主体の介護予防活動の支援を継続する。 ・より智頭町らしい介護予防活動の地域展開を図るため、介護予防ボランティアの育成と活動方法を関係機関と検討する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	介護予防事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3、11
事業（細目）名	地域リハビリテーション活動支援事業	事業番号	2040		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	10	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	介護予防の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で定期的に介護予防教室を開催 ・いきいき百歳体操の普及啓発 ・住民及びサービス事業所への理学療法士による助言・指導

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額				1,643,930円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	元気にすてっぷフォロー教室参加延人数	人	3060	3100	2353	77%
②	いきいき百歳体操実施箇所数	箇所	13	15	16	123%
③	住民及びサービス事業所への助言・指導延件数	件	12	15	14	117%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で介護予防体操教室を開催（月2～4回）。 ・いきいき百歳体操実施グループに、理学療法士が半年に1回定期指導。 ・住民、及びサービス事業所へ理学療法士から助言・指導を実施。 				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、活動を休止した時期もあったが、感染予防に努め、定期的に教室開催、理学療法士の指導を実施、住民の活動量だけでなく活動意欲向上。 ・いきいき百歳体操は、生活支援コーディネーターの連携もあり、今年度開始箇所が3か所増加。 ・サービス事業所への指導は、事業所職員の知識・技術向上につながっている。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 専門職の視点をいかすことができおり、介護予防に効果的な事業である。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業を継続しつつ、いきいき百歳体操については、新規に取り組むグループの開拓を引き続き行う。 ・介護予防体操教室は、参加者が減少している地区があり、新規参加者が増えるよう、町としてもこの教室の意義等を住民に啓発していく。保健事業と一体的に実施することも今後検討する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	介護給付費の適正化事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3, 11	
事業（細目）名	介護給付費の適正化事業の推進	事業番号	1893			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	11	連番	44

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	介護給付費の適正化
Plan(事業概要・計画)	介護給付費通知を、保険者から受給者本人（家族含む）に対して、事業者からの介護報酬の請求及び費用の給付状況等について通知することにより、受給者や事業者に対して適切なサービス利用を普及啓発するとともに、自ら受けているサービスを確認し、適正な請求に向けた抑止効果を上げる。（年に2回送付。通知対象者は介護サービス受給者から国保連合会が抽出。）

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)					R2実績額	20,145円
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	介護給付費通知対象者（手数料21.5円/件）	件	908	1060	937	117%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	・受給者本人（又は家族）に対して、サービスの請求状況及び費用等について通知を送付。（6月、12月）					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	介護給付費通知は、発送時の手間が膨大であるにもかかわらず、具体的な効果については不透明な状況にある。その効果を見出しにくいところをどう分析していくか。また、受給者にとってわかりやすく効果的な介護給付費通知となるよう検討するとともに、効果や課題を把握し改善点をとらえ実施していくこと。また、国保連への通知書作成にかかる抽出内容を見直すとともに、通知書作成について検討する。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 介護給付の適正実施のため、必要な事業である。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
通知内容や発送回数及び時期を確定させ、作業効率を高める方法を構築する。 受給者へ確実に周知されるよう「給付費通知の見方」や「介護保険制度の案内」等を同封するなど、効果を高める方法を検討する。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	町民の健康づくりを目指した健康ちづ21の見	所属	福祉課	SDGs	3,11
事業(細目)名	健康教育事業	事業番号	1109		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	12	連番

R2年度(4月記入)

Goal(目標)	正しい知識を普及啓発し、生活習慣病の発病予防、重症化予防を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブやミニデイなどでの講話(随時) ・町保健衛生委員会の開催(2回) ・中学校で思春期教室の開催 ・健康ちづ21についての普及啓発

R2年度(年度末実績時のチェックを記入)

Do(実行)		R2実績				79,303円
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	老人クラブ等での健康教育	延人	187	150	244	130%
②	保健衛生委員会の開催	延人	57	50	0	0%
③	健康ちづ21についての普及啓発	回	0	5	5	-
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブやミニデイなどでの講話 ・中学校で思春期教室の開催 ・広報を利用して、健康ちづ21について普及啓発(全5回) 					

R2年度(年度末実績時のチェックを記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大人数が集まる保健衛生委員研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、資料配布等で啓発活動を実施した。 ・広報を活用し、健康ちづ21の重点テーマ等について住民に周知した。 					

R2年度(年度末評価を記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由: 新型コロナ感染症拡大のため中止とする場合が多かった。資料配付や広報等で啓発活動は行うことが出来た。				

R2年度(年度末改善方針を記入)

Action(改善)						
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画					
	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ等での健康教育や保健衛生委員の研修は社会情勢を踏まえ実施を検討する。 ・健康ちづ21の中間評価として、住民を対象としたアンケート調査を実施する。 ・食育推進計画の改定 					

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	町民の健康に対する意識の高揚を図るための啓	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	健康相談事業	事業番号	1108		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	13	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	正しい知識を普及啓発し、生活習慣病の発病予防、重症化予防を目指す。
Plan(事業概要・計画)	広報誌、告知端末、ホームページなどの様々な媒体を活用した啓発。（随時）

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)	R2実績					16,699円
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	集団健診広報誌掲載回数	回	8	8	8	100%
②	新型コロナウイルス関連（広報誌・告知端末）	回	0	70	70	-
③	その他健康に関すること	回	12	14	14	117%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ほのぼののそよかぜ通りにおけるポスター掲示やパンフレットの配布。 ・広報や告知端末を利用しての情報啓発。 ・コロナの関係の情報啓発を告知端末や広報を利用して行った。（相談方法、運動、食事など） 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの関係で集団健診の体制などの変更が時々あり、告知端末を利用しての啓発を行った。 ・連休中の生活方法（運動や食事など）、コロナ禍での注意点などの啓発をする機会が大変多かった。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：啓発の継続は重要でいろいろな機会、媒体を活用し、実施している。今後高齢者に対するよりわかりやすい方法の検討が必要。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)						
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画					
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する情報を積極的に行う。 ・告知端末や広報以外の高齢者への啓発方法をさらに検討。 					

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康増進のためのセラピーロードの活用	所属	山村再生課	SDGs	12,15
事業(細目)名	森林セラピー事業	事業番号	1896		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	14	連番

R2年度(4月記入)

Goal(目標)	森林セラピーの普及啓発及びプランの実施検証。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・町福祉課や各地区振興協議会等と連携し、森林セラピーの利用を推進する。

R2年度(年度末実績を記入)

Do(実行)					R2実績額	3,416,584円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	森のガイド養成講座・ガイドフォローアップ講座開催	回	12	12	10	83%
②	町民セラピーデー開催	回	4	8	6	150%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)智頭町観光協会へ森のガイド養成、PR経費として補助金を交付した。 ・山郷地区振興協議会、土師地区振興協議会へ環境整備費として補助金を交付した。 ・町民の森林セラピーガイド料を無料とした。 ・町福祉課と連携し、健康ポイント事業を実施した。 ・新規セラピーロードプログラムの開発を行った。 				

R2年度(年度末実績時のチェックを記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県版新型コロナウイルス警報に伴い中止したイベントもあるが、計画の半数は実施することができた。 ・町民セラピーデー(無料)は利用者が固定化しており、新たな顧客の獲得に向けたPRが必要。 				

R2年度(年度末評価を記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由: コロナ禍で制約を受けたが、町民の利用増進に努めた。				

R2年度(年度末改善方針を記入)

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・実際にガイドデビューに結びつきやすい近隣市町へ営業を行い、森のガイド養成を行う。 ・山郷地区横瀬渓谷コースのプログラムを開発し、住民向けのお披露目イベントを開催する。 ・土師地区天木森林公園コースのウッドチップ再整備を住民とともに進行。 ・町民向けセラピーデー(無料)を継続して開催する。 ・町福祉課と連携し、健康ポイント事業を継続する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	看護師確保対策の強化	所属	智頭病院	SDG s	3
事業（細目）名	看護師奨学金制度	事業番号			
総合計画	基本理念	安全安心に暮らせる健康長寿なくらし			
	視点	健康	事業番号	15	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	奨学金活用者の看護師免許取得や入職に結びつける。
Plan(事業概要・計画)	看護学校等在学者への新規奨学金利用の呼びかけと、現受給者への支援継続。

R2年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)		R2実績見込額		504,000円		
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
①	新規奨学金受給者	人	2	4	0	0%
②	継続奨学金受給者	人	0	2	1	-
③	智頭病院就業者	人	2	2	1	50%
実施内容	新型コロナウイルスにより、就職説明会が実施できずPRの機会がなかった。そのため、新規受給者の獲得にはいたらなかった。					

R2年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	既就業者が看護師資格を取得するなどの成果が出ている。 学生の新規受給の申し込みがない状況である。					

R2年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 資格取得や新規入職に寄与している。				

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
看護学校在学生への奨学金利用の呼びかけと、東部の高等学校への奨学金制度のPRにより新規利用を募る。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	医療設備・機器の整備	所属	智頭病院	SDGs	3
事業(細目)名			事業番号		
総合計画	基本理念	安全安心に暮らせる健康長寿なくらし			
	視点	健康	事業番号	16	連番

R2年度(4月記入)

Goal(目標)	医療設備・機器の計画的な整備・更新
Plan(事業概要・計画)	逆浸透精製水製造システム、マンモグラフィー装置、携帯型咽頭ファイバースコープ、内視鏡スコープ

R2年度(11月末に実績見込を記入)

Do(実行)	R2実績見込額					92,688,000円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
①	器械備品減価償却率	%	79	78	78	99%
②						
③						
実施内容	逆浸透精製水製造システム、マンモグラフィー装置、携帯型咽頭ファイバースコープ、内視鏡スコープ					

R2年度(11月末に記入)

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	順次機器の更新を行うことが出来ている。					

R2年度(11月末に記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：必要な機器の整備と更新を行うことが出来た。				

R2年度(11月末に記入)

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
診療に必要な機器の整備を計画的に行うことができています。 施設の老朽化に対する対応を計画的に実施する必要があります。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	医師確保対策の強化	所属	智頭病院	SDG s	3
事業（細目）名				事業番号	
総合計画	基本理念	安全安心に暮らせる健康長寿なくらし			
	視点	健康	事業番号	17	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	病院事業継続のため医師確保を図る。
Plan(事業概要・計画)	鳥取県・鳥取大学、その他関係機関への医師派遣要請 院内保育所の整備、医師住宅の確保 研修医、実習生への広報

R2年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)		R2実績見込額					円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)	
①	研修医の受入	人	3	3	3	100%	
②	学生の受入	人	1	1	0	0%	
③							
実施内容		研修医の受入時に智頭病院と智頭町での取組等をPRすることが出来た。					

R2年度（11月末に記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		県派遣医師については、一定数を確保することは出来ている。 各機関へ医師確保の要請をするものの、常勤医師の確保に結びついていない。				

R2年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：さらなる働きかけが必要。				

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
若手、中堅、の医師確保のための取組の継続と、新たな視点が必要。 院長の招聘が急務である。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	学校給食費の無償化	所属	教育課	SDG s	1,3,11
事業（細目）名	学校給食費	事業番号	1215		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	①健康	事業番号	18	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	
<p>1. 町内の小学校、中学校に通う児童・生徒の保護者の経済的負担の軽減、子育ての支援。</p> <p>2. 令和元年度は、児童・生徒の保護者の経済的負担の軽減、子育ての支援のため2分の1補助。</p>	

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)					R2実績額	21,165,988
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	児童・生徒の保護者のみ2分1の補助	円	7,924,514	21,326,000	21,165,988	269%
②						
③						
実施内容		①令和2年度は、児童、生徒の保護者の経済的負担の軽減。子育て支援のため、給食費無償化の実施				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>(1) 令和2年度は、2分の1補助でスタートをしたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象になることから、全額補助を実施し、納入していた給食費は保護者に返金をし、さらなる、保護者の負担軽減と子育て支援に繋げた。令和3年度は、一般財源での予算計上となるが、保護者の負担軽減と子育て支援のため、全額補助とし、無償化を継続する。</p>				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価		評価理由：保護者の教育費にかかる負担軽減により、さらなる教育力の充実に努めたい。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<p>(1) 令和2年度は、2分の1補助でスタートをしたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象になることから、全額補助を実施し、納入していた給食費は保護者に返金をし、さらなる、保護者の負担軽減と子育て支援に繋げた。令和3年度も、保護者の負担軽減と子育て支援のため、全額補助とし、無償化を継続する。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート ※統合検討

事業名	智頭宿の町並み整備と事業展開の推進	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	観光施設管理事業	事業番号	1650		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	2	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	有効活用できる空き家・空き施設を調査し、智頭宿一体の活性化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 智頭宿内に点在している空き家・空き施設の現況を確認し、新規創業並びに移住者の増加を図る。 ・ 智頭宿内において、ゲストハウスを運営している民間事業者と連携したイベントを行う。

R2年度

Do(実行)	R2実績額					0円
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)	
① 平野邸の維持管理及び調査	回	1	3	0	0%	
② 民間事業者とのイベントの実施	回	2	2	0	0%	
③ 智頭宿内の新規出店者の増加（タルマーリー）	店舗	0	1	1	-	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちづみちエリアリノベーション事業と連携した智頭宿一体のPRを行う。 ・ まちづくり支援事業と連携した空き施設の活用。 ・ PFI検討委員会で協議を行う。 					

R2年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き施設の有効活用を図り、新規出店者の呼び込みが出来た。 ・ ちづみちエリアリノベーション事業や魅力発信事業との連携によるより一層のPRが必要。 					

R2年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 事業の統合を検討すること				

R2年度

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光協会との連携により智頭宿を中心に巡るツアーの実施を行う。 ・ 町HP及び観光協会HPなどを活用した積極的なPR活動。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	情報インフラの更新	所属	企画課	SDG s	9
事業（細目）名	地域情報化推進事業	事業番号	1879		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	3	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	地域間の情報格差是正のため整備した光通信網の維持活用
Plan(事業概要・計画)	<p>○光通信網の維持管理、安定したサービス提供の実施。</p> <p>○既存設備に替わる次世代IP告知端末の機器選定、導入に向けた情報収集。（地域の住民が日常的に使用することができる利便性の高い情報通信基盤の再構築の検討。）</p>

R2年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)			R2実績額		141,035,485円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
①	光通信網の維持管理、安定したサービス提供の実施	件数	2,487	2,487	2,487	100%
②	機器更改に向けた協議会への加入	団体	0	1	1	-
③	お元気ですかメール加入者数	人	87	83	82	94%
	実施内容	<p>○情報通信基盤利用促進協議会への加入</p> <p>○新型コロナ対応臨時交付金を活用したアプリ開発の先行実施</p> <p>○工事分担金の一部補助・減免による利用者の負担軽減、高齢者見守り支援策の実施（お元気ですかメール）</p>				

R2年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
	成果・課題	<p>○新型コロナ対応臨時交付金を活用した自治体独自のアプリ開発業務の先行実施</p> <p>○高齢者の見守り支援策として、お元気ですかメールを活用し、高齢者の安全安心に繋げる支援ができた。（福祉課連携）、○情報通信基盤利用促進協議会への加盟（次世代IP告知端末整備に向けた準備）</p>				

R2年度（11月末に記入）

評価	A		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	A	評価理由：更新時期となっており、機能の拡充により住民の利便性の向上だけでなく、健康増進、教育まで幅広い活用方法検討している。					

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<p>○新型コロナウイルス対策を想定した新しい生活様式へ対応したアプリの実装及び早期端末整備の実施、住民生活の利便性向上（ベーシック版アプリのカスタマイズ、安定した通信サービスの提供等）</p> <p>○継続した高齢者の見守り支援、安定したサービス提供の実施</p>

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	地方特定道路整備及び急傾斜地崩壊対策事業	所属	地域整備課	SDGs	9	
事業（細目）名	道路新設改良事業	事業番号	1171			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	5	連番	54

R2年度（年度末評価を記入）

Goal(目標)	事業の早期完成
Plan(事業概要・計画)	大内木下地区・浅見B地区の事業実施予定（鳥取県） 鳥取県及び国土交通省管理道路への改良等の要望を行う。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額					6,285,998円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
①	急傾斜地崩壊対策事業施行箇所	地区	1	2	1	100%
②	国道373号等の改良工事	工区	4	4	4	100%
③						
実施内容	急傾斜地崩壊区域内の自然がけに対し、急傾斜地の崩落による災害から住民の生命を保護する。国道373号及び主要地方道津山智頭八東線等の道路改良等の要望。					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	大内木下地区は計画通り施工されたが、浅見B地区においては、地元の総意が得られていない状況が発覚し、事業が中止となった。 国道373号（大内）耐雪帯工事が施工された。主要地方道津山智頭八東線（大呂工区・芦津工区）及び主要地方道智頭勝田線（西谷工区）で改良工事が施工された。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：住民の生命・財産を守る事業となっている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
今後、急傾斜地崩壊対策事業で新規要望がある際には、事前に地区・地権者の総意を得ること。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	町道及び橋梁の計画的な整備と長寿命化計画	所属	地域整備課	SDG s	9	
事業（細目）名	道路維持事業/社会資本整備総合交付金事業/地方創生整備推進交付金事業	事業番号	1170/1336/2010			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番	55

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	町道の適切な維持管理
<p>町道の維持管理を行い住民生活の利便向上と安全確保を図る。また、自助共助に基づく除草等の町道維持を行う集落・団体に交付金を交付する。</p> <p>町道関屋黒本線・源平線・三田中田線・川戸穂見線・下向線の改良・整備。町道ゆめが丘線の新設。橋梁長寿命化計画に基づき、町管理橋梁の点検、町道橋梁の計画的な法定点検（5年に1回）長寿命化計画に基づき、橋梁の点検、及び適切な橋梁補修。町道奥本河津原線及び町道木工団地線の拡幅整備。舗装長寿命化修繕計画に基づき、舗装修繕の実施。（切削オーバーレイ等）</p>	

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額		258,137,456円			
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)	
①	修繕路線数	路線	10	10	17	170%
②	改良・舗装路線数	路線	9	13	12	133%
③	橋梁点検修繕数	橋	6	26	26	433%
実施内容						
<p>【修繕】町道宇波線道路修繕、町道本折南方線道路陥没修繕 等 外15件</p> <p>【工事】町道山崎線舗装工事、町道関屋黒本線舗装工事、町道関屋黒本線道路改良工事、町道川戸穂見線道路改良工事、南方橋・備前橋他修繕工事他。</p>						

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<p>軽微な陥没等については直営修繕を行い、事業費の抑制に務めた。道路等愛護事業は3年目となり、申請団体が固定化されつつあるため、未申請集落への事業周知を行う必要がある。</p>						

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：住民の生活に直結する為、安全安心を保つ為には必要不可欠。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<p>智頭町全域で町道の損傷が多く見られる。修繕や工事の発注の際は、妥当性や有効性を勘案し適切な優先順を決める必要がある。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証】

事業名	ふるさと土木整備事業	所属	地域整備課	SDGs	9
事業（細目）名	ふるさと土木整備事業	事業番号	1778		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	7	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	住民の安全・安心を守るため、地域インフラの課題解消
Plan(事業概要・計画)	ふるさと整備土木事業 集落の生活環境を向上・維持するため、地元管理の道路及び水路等について整備・改良を行う。地元負担1/4。一部県補助対象。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額		10,012,200円			
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
①	施行件数	件	8	5	7	63%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	申請件数13件 採択件数7件（波多、慶所、中村、東宇塚、宇波、板井原、下西）					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	監督員により、地元・施工業者の連絡調整も密にできており、工事完了している。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：災害認定されなかった箇所等、住民の要望に応える対応が出来た。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	過去の申請集落、採択状況、現状を勘案し、今後も事業を行っていく。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	老朽管更新事業	所属	税務住民課	SDGs	6
事業（細目）名	委託料（水道事業会計）		事業番号		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	11	連番 58

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	老朽管の更新を行い、長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントを策定し、それを基礎として中期・短期の計画を作成し、継続的、計画的な施設の更新をおこなう。

R2年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R2実績額				3,850,000円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	アセットマネジメントの策定	千円	0	4,290	3,850	-
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度中のアセットマネジメントの策定。 					

R2年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・更新の要となるアセットマネジメントの策定ができたので、短期の計画を作成して実施する。 					

R2年度（11月末に記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 施設更新計画の一番の基礎となる指標の策定となるため。				

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントが完成したので、これを基に短期の計画を作成して実施する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	老朽施設更新事業	所属	税務住民課	SDG s	6
事業（細目）名	改良費（水道事業会計）	事業番号			
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	12	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	老朽化施設の更新を行い、長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントを策定し、それを基礎として中期・短期の計画を作成し、継続的、計画的な施設の更新をおこなう。

R2年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R2実績額				2,739,000円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
①	第2水源送水ポンプ更新	千円	0	1,729	1,650	-
②	第2水源ろ過ポンプ更新	千円	0	1,107	1,089	-
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ R2年度中のアセットマネジメントの策定。 ・ 耐用年数経過の送水ポンプ・ろ過ポンプを更新した。 					

R2年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初の予定通りの更新ができた。 					

R2年度（11月末に記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 施設更新計画の一番の基礎となる指標の策定となるため。				

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントが完成したので、これを基に短期の計画を作成して実施する。 ・ポンプ更新については予定通り

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	国・県・町の連携による通学路等の整備検討	所属	教育課	SDG s	11
事業（細目）名				事業番号	
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	13	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	児童生徒が安全に通学できるよう、通学路等の整備検討を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月末までに、学校とPTAが協力をし、通学路の安全点検を行う。 ・ 点検結果に基づき、危険個所の把握及び合同点検を行う。 ・ 整備個所を検討する。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額					0
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	合同点検日数	日	1	1	1	100%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みを活用し、関係機関で合同点検を行った。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危険個所の把握及び改良点等の検討を行い、改良要望書の回答は、12月末までに取りまとめられる予定。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：安全点検・合同点検の実施により危険箇所の改善が図られている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<p>小中学校及び保護者等の意見を取りまとめ、総務課が実施する交通対策会議と連携し、児童の登下校の安全確保に努める。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	安心・安全な町民バスの運行、更新	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	コミュニティバス運行事業	事業番号	1634		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	15	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	老朽化が著しい車両の更新のほか、安心・安全な公共交通サービスを提供する。
Plan(事業概要・計画)	<input type="checkbox"/> 老朽化した車両の更新（町民バス） <input type="checkbox"/> 町内路線バスの安全運行 <input type="checkbox"/> 町民バス運行委託の業者選定のほか、スクールバス化に向けた運行期間・活用方法の検討

R2年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R2実績額		44,207,403円			
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
①	車両更新（すぎっ子バス）	台	0	0	0	0%
②	町民バス事故・苦情件数	件	4	4	6	150%
③	スクールバス化の検討（交通関係者意見交換）	回	0	6	7	-
実施内容	<input type="checkbox"/> 町民バスの安全運行 <input type="checkbox"/> 令和3・4年度町民バス運行に係る業者選定及びスクールバス化に向けた検討の実施					

R2年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<input type="checkbox"/> 共助交通導入を進める中でスクールバス化を検討しているため、車両購入については本年度は更新を見送り。 <input type="checkbox"/> 交通法規の遵守・ドライバーの教育・指導について随時実施					

R2年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：	現在の公共交通の中核であり、なくてはならない事業。運行に伴う課題もあり、委託事業者との連携を図る必要がある			

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<input type="checkbox"/> 共助交通導入に合わせた既存町営バスの利用方法の検討（スクールバス化、スクールバス利用時間外での活用方法） <input type="checkbox"/> 県の補助制度等を活用した計画的な車両の更新 <input type="checkbox"/> ドライバー教育等の随時実施による安心安全な交通サービスの提供（事故及び苦情関係の縮減）	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公共交通機関の利用促進	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	交通政策事務費	事業番号	1636		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	16	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	町民が利用しやすい公共交通を検討し、公共交通の利用促進に繋げる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通の利用促進に向けたPR活動の実施 ○広域連携事業の課題・問題点を抽出 ○公共交通空白地有償運送運行支援の実施

R2年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)			R2実績額			506,000円	
活動実績を示す指標			単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
①	各種協議会への負担金支払い・協議会参加	団体	5	5	5	5	100%
②	連携中枢都市圏広域連携事業への参加	事業	7	8	7	7	100%
③	公共交通空白地有償運送サービス利用者の年会費負担	人	90	86	83	83	92%
実施内容							
<ul style="list-style-type: none"> ○各協議会への負担金を通じて、公共交通利用促進に向けた広報・普及活動を実施 ○連携中枢都市圏における広域連携事業の計画等を審議（公共交通分野）、○乗合タクシー運行事業者への助成 ○シルバー人材センターに対し公共交通空白地有償運送サービス利用者が負担する年会費の半額相当を支援 							

R2年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ○参加者にパンフレット・ノベルティを配布するなどの広報・普及活動により、幅広い世代に公共交通への関心が高まっているものの、新型コロナの影響もあり、沿線イベント活動は軒並み中止となっている。 ○各種公共交通における課題や計画を審議し、今後の取り組み・支援等について意見を交わすことができた。 						

R2年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	充実した交通体系の一つである空白地有償運送の支援など体系維持に寄与して 評価理由： いる。新たな交通体系の整備においてシルバー人材センターとの連携は重要であり、良好な関係構築を図られている				

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ○継続して町民が利用しやすい運行形態を模索するとともに、幅広い世代に対し親しみやすい公共交通の在り方を検討する。また、今般のコロナの状況を鑑み、真の利用促進を進める観点から、従来の活動（沿線市町村でのイベント支援を中心とした活動）からの見直しを検討する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	除雪事業	所属	地域整備課	SDGs	9
事業（細目）名	除雪事業/社会資本整備総合交付金事業		事業番号	1295/1336	
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	17	連番 63

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	冬期交通の確保及び安心して暮らすことができる地域作りを目的に、町道等の除雪を行う。
Plan(事業概要・計画)	冬期の積雪時、生活道路の除雪を行い、地域住民の安全安心に寄与する。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額					44,580,651円
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
①	小型除雪機購入（集落等へ貸付）	台	3	2	2	67%
②	除雪ドーザ購入	台	1	2	2	200%
③	除雪機械の運転手の育成支援	名	5	6	7	120%
実施内容	除雪計画の策定（町道59路線 農道3路線 林道4路線 その他2路線 県道応援除雪路線2路線、5施設、） 11月16日：除雪会議 11月24日：直営除雪会議 ・除雪機械の運転手の育成支援7名 ・除雪ドーザ2台購入（5t級・8t級ドーザ） ・小型歩道除雪機2台購入					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	年末年始に大雪を齎したが、委託業者等による除雪で生活用道路の確保が出来た。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：降雪期の交通の確保、住民の安全安心を保つことができた。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
業者へ適切な指導を行い、無駄の無い除雪をお願いし、経費の削減に努める。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	鳥取県東部広域行政管理組合による消防・救急体制の維持・充実	所属	総務課	SDG s	9
事業（細目）名	常備消防費	事業番号	1178		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	23	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	鳥取県東部広域行政管理組合による消防・救急体制を維持する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防・救急体制を充実させる。（組合への負担金支払い） ・ 智頭出張所を新築移転する。（令和4年度予定）

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額					164,407,168円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①						#DIV/0!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容						

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 町民の生命・財産に関わる事業であるため。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部広域行政管理組合の方針による。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	災害対策体制の確立	所属	総務課	SDGs	11	
事業（細目）名	防災費	事業番号	1181			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	24	連番	65

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	災害による死傷者を発生させない
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画の改定 ・国土強靱化地域計画の個別業務計画策定 ・ハザードマップ改訂

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			4,048,000円	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	災害による死傷者数	人	0	0	0	-
②	ハザードマップ改訂	回	0	1	1	-
③						
実施内容	平成27年度改訂のハザードマップを改訂した。 災害による死傷者数は0人だった。					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・浸水想定を盛り込んだハザードマップ作成により、土砂災害警戒区域情報と併せて確認することができ、住民の避難行動を再考してもらった。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 町民の生命・財産に関わる事業であるため。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・支え愛マップづくりとからめ、防災マップの活用に注力する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R3年度新規事業用】

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全・安心につ	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	日常生活用具給付事業	事業番号	1308		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番

R3年度（4月記入）

Goal(目標)	独居の高齢者が安全・安心に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	・日常生活用具（電磁調理器）の貸与

R3年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R3実績見込額					円
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	電磁調理器の貸与数	件	0	1		#DIV/0!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	・必要な世帯等への事業の説明等					

R3年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

R2年度（3月末に記入）

評価		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	D	評価理由：実績なし。必要者が出た場合の体制や周知は今後必要である。				

R3年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	必要な独居老人のために予算確保は必要。

第7次総合計画進行管理検証シート【R3年度新規事業用】

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全・安心につ	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	老人福祉費	事業番号	1062		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番

R3年度（4月記入）

Goal(目標)	高齢者が安心・安全に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・お元気ですかメールの実施、要援護者台帳の整備、安心見守り事前登録、見守り応援団協力機関登録などにより、高齢者等の見守り体制を整備する。

R3年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R3実績見込額					円
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)	
① お元気ですかメール登録者数	人	78	80		103%	
② 高齢者等見守り応援団協力機関登録事業者数	事業所	4	5		125%	
③					#DIV/0!	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者及びその家族、事業所への事業の説明等 					

R3年度（11月末に記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

R2年度（3月末に記入）

評価		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：対象者に対して丁寧な取組が出来ている。町民全体への周知が不十分な面もある。				

R3年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を維持しつつ、きめ細かな対応を行う。 ・町民全体への周知に務める。

第7次総合計画進行管理検証シート【R3年度新規事業用】

事業名	在宅福祉対策事業費	所属	福祉課	SDG s	9	
事業（細目）名	高齢者の生きがいと健康づくり事業	事業番号	1068			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	25	連番	66

R3年度（4月記入）

Goal(目標)	高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりの推進
Plan(事業概要・計画)	<p>智頭町在住の高齢者に対する生きがいと健康づくり、支え合い事業を智頭町社会福祉協議会に委託し、事業を行っている。</p>

R3年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R3実績見込額					円
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)	
① 健康活動	回	17	17		100%	
② 学習リーダー研修	回	15	15		100%	
③					#DIV/0!	
実施内容	健康活動として、健康増進大会（年二回のウォーキング大会）・老人スポーツ大会・東部地区高齢者健康運動会・グランドゴルフ大会・健康教室・男の料理教室の開催 学習リーダー研修として、リーダー研修会・県研修会への参加 老人福祉大会、交通安全教室、同和研修の開催					

R3年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

R3年度（11月末に記入）

評価		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： コロナ禍で活動が十分行えなかった				

R3年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<p>コロナ禍でも実施可能な地域活動、生きがいと健康活動ができるよう取組を進める。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート【R3年度新規事業用】

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全・安心につ	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	高齢者等居住環境整備助成事業	事業番号	1469		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番

R3年度（4月記入）

Goal(目標)	独居の高齢者が安全・安心に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	・高齢者が在宅で安心して暮らせるよう住宅改修費の一部を助成する。

R3年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R3実績見込額					円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	高齢者等居住環境整備助成事業補助金	件	0	1		#DIV/0!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	・必要な世帯等への事業の説明等					

R3年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	R2年度実績なし					

R3年度（11月末に記入）

評価	-	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	-	評価理由： 相談はあったが実施はなかった				

R3年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
必要な者へ事業の説明を行う。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R3年度新規事業用】

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全・安心につ	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	わが町支え愛体制づくり事業	事業番号	1991		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番

R3年度（4月記入）

Goal(目標)	独居の高齢者が安全・安心に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 各集落ごとで支え合いマップを作製し、有事の際の高齢者等の安全を確保する。

R3年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R3実績見込額					円
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)	
① 支え合いマップ新規作成集落	集落	1	3		300%	
②					#DIV/0!	
③					#DIV/0!	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 必要な集落等への事業の説明等 活動継続実施集落への支援 					

R3年度（11月末に記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

R2年度（3月末に記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： コロナの影響で十分な活動が難しかった				

R3年度（11月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
新規集落への働きかけを社協等感k期間と取り組む。 継続集落への支援と自主活動への支援を行う。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R3年度新規事業用】

事業名	自死対策事業	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	自死対策事業	事業番号	1913			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	連番	II-1	

R3年度（4月記入）

Goal(目標)	誰もが自死に追い込まれることなく健康で生きがいをもって暮らせることができる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・自死対策を支える人材の養成 ・町民への啓発と周知 ・相談体制の整備と関係機関との連携強化

R3年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)		R3実績見込額	129,000円			
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	自死者数	人	0	0		#DIV/0!
②	人材育成者数	人	31	35		113%
③	普及啓発物配布数	部	261	600		230%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・自死者数 0人を目指す。 ・講演会を開催し自死対策を支える人材を育成する。 <p>普及啓発物(睡眠の大切さを伝えるもの。絆創膏を予定) 600部作成し配布。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月自殺予防週間、3月自殺対策強化月間普及啓発活動（告知端末放送、広報掲載等）。 ・自死対策計画の策定。 				

R3年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成、スキルアップのため民生委員の定例会に併せて研修会を実施。事例検討やグループワーク等を取り入れた内容が良かった、時間が短かった等といった感想があったため、次年度は内容等検討が必要。 ・住民に対して相談先の周知の不十分さがあるため、相談先の周知を工夫する必要がある。 				

R2年度（3月末に記入）

評価		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：研修を行い、啓発を進めることができた				

R3年度

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
自死対策計画を各関係機関と連携して策定予定。	
計画に沿った研修、啓発を進めて行く。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	健康ポイント事業	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	健康ポイント事業	事業番号	2023			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	連番	II-2	

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	健康ポイント事業を通して健康への意識を高め、元気で長生きできるまちづくり
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキンググループへの登録通知（4月） ・広報で住民に周知（4月）

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)		R2実績			155,000円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	ポイント引き換え者数	人	141	135	100	96%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキンググループへの登録通知（4月） ・広報で住民に周知（4月） ・20ポイント達成者には杉小判1,000円と引き換え ・杉小判引き換え者にアンケート実施 ・達成者の中から抽選で5名に杉小判5,000円プレゼント 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	事業参加者の96%が60歳以上で参加者年齢に大きな偏りがあり、61%がリピーターで新規参加者が少ない。 ポイントは平日に役場の窓口に来ないと付与できないため、若者の参加は難しい					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：住民への認知度も少しずつ上がってきているが、住民全体への取り組みとして広がっていない。コロナで事業が減り、引き換え者が減少した。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
ウォーキングポイントは3名以上のチームを作った者限定だったが、1人でもポイント対象にする。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R3年度新規事業用】

事業名	ぜん息児等機能回復支援事業	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	ぜん息児等機能回復支援事業	事業番号	1419		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-3

R3年度（4月記入）

Goal(目標)	温水プールを利用することにより身体の機能回復を促進し、健康で明るい生活を送る
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者への助成券の発行 ・広報で住民に周知（4月号）

R3年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R3実績見込額					円
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	利用者数	人	186			0%
②	住民への周知	回	1			0%
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者への助成券の発行 ・広報で住民に周知（4月号） 					

R3年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>令和元年度より利用者数が増えており、事業の周知がはかれてきている。 評価は難しいが、利用者数以外の評価も今後は必要。</p>					

R3年度（11月末に記入）

評価		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：利用者が増加し、町民の認知度も定着してきている。プールを利用し、健康づくりにつながる事業。今後も必要であるが、評価の検討も必要。				

R3年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業について広報に掲載し、周知を図る。 ・プールと連携し、事業評価について確認する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	ぜん息児等機能回復支援事業	所属	福祉課	SDG s	3	
事業（細目）名	ぜん息児等機能回復支援事業	事業番号	1419			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	連番	II-3	

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	温水プールを利用することにより身体の機能回復を促進し、健康で明るい生活を送る
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者への助成券の発行 ・広報で住民に周知（4月号）

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)	R2実績					537,150円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	利用者数	人	159	170	186	107%
②	住民への周知	回	1	1	1	100%
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者への助成券の発行 ・広報で住民に周知（4月号） 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>令和元年度より利用者数が増えており、事業の周知がはかれてきている。 評価は難しいが、利用者以外の評価も今後は必要。</p>					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：医師に必要と判断され、利用希望する人が年々増加しているため				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<p>広報で周知。 助成額等に変更しない。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート【R3年度新規事業用】

事業名	歯科保健事業	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	歯科保健事業	事業番号	1110		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-4

R3年度（4月記入）

Goal(目標)	口腔の健康の保持・増進、歯科口腔保健に関する健康格差の縮小				
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児を対象とした歯科健康教育の実施 ・ 歯科保健情報交換会の開催 ・ 乳幼児歯科健診要指導、要治療者への受診勧奨、フォロー 				

R3年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R3実績見込額			129,000円		
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	歯科健康教育の実施	回	0	12		#DIV/0!
②	歯科情報交換会の開催	回	0	1		#DIV/0!
③	要指導者への受診勧奨、フォロー	人	0	5		#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳歯の虫歯は永久歯にも影響するため、保育園で幼児を対象に健康教育を実施し、保護者への啓発も行う。 ・ 広報紙、告知端末等で住民へ周知し、歯周疾患検診（40.50.60.70歳の節目健診）及び後期高齢者歯科健診の受診者の増加を図る。 ・ 歯科医、学校歯科保健関係者、教育課等の関係機関との歯科情報交換会を行い、智頭町の歯科保健対策を包括的に実施できるようにする。 					

R3年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

R2年度（3月末に記入）

評価		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：歯科健診への勧奨等は行っているが、歯科対策連絡会や健診後のフォローまでは行っていない。				

R3年度

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画				
<p>保育園等、関係機関との連携強化、効果的な啓発、取組に努める。</p> <p>対策会議を行い、各方面から歯科対策を推進する。</p>					

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	各種予防接種	所属	福祉課	SDGs	3
事業（細目）名	任意予防接種	事業番号	1093		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-5

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	感染症対策
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザは対象者に個別通知（9月） ・流行性耳下腺炎の助成は乳児健診の際に周知（毎月）

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)	R2実績		467,100円			
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	インフルエンザ接種人数	人	387	500	444	129%
②	助成申請した者の流行性耳下腺炎接種者数	人	10	10	11	100%
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザは9月末ごろに個別通知 ・流行性耳下腺炎の助成は乳児健診の際に周知 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザの助成額が他の東部3町に比べて少ない。 ・流行性耳下腺炎は約2,000円の自己負担が必要であり、家計状況によっては接種できない家もある。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：インフルエンザ対象者への個別通知等実施等必要な対応がきちんと行っている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)						
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画						
<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種は1,000円助成を2回から3,000円助成を2回に拡大。 ・流行性耳下腺炎は2,100円の助成を3,000円の助成に拡大し、実施。 						

第7次総合計画進行管理検証シート【R3年度新規事業用】

事業名	障がい者歯科診療所運営支援事業	所属	福祉課	SDG s		
事業（細目）名	障害者福祉費	事業番号	1385			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	連番	II-6	

R3年度（4月記入）

Goal(目標)	障がい者の口腔健康の維持・向上を図る
Plan(事業概要・計画)	障がい者に対して歯科診療、歯科保健指導等を行う障がい者歯科診療所の運営に要する経費の一部を、鳥取県東部地域の1市4町共同で補助することにより、障がい者の口腔健康の維持・向上を図り、障がい者福祉の増進に資することを目的とする。

R3年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R3実績見込額					円
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	歯科診療	日	48	46		96%
②	保健指導	日	40	40		100%
③						#DIV/0!
実施内容	毎週木曜日午後に鳥取県口腔総合保健センターにて歯科医師会所属の医師が診療を行う。 毎週火曜日午後に鳥取県口腔総合保健センターにて歯科医師会所属の医師が保健指導を行う。					

R3年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

R3年度（11月末に記入）

評価		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：適切な対応ができる場の確保ができている				

R3年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
対応できる場の維持と、必要とする対象者に円滑に情報提供できる体制づくりに務める。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	みんながみんなを支える持続可能な交通システム構築事業	所属	企画課	SDG s	11
事業(細目)名	地方創生推進事業	事業番号	2032		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	新	連番

R2年度(4月記入)

Goal(目標)	すべてに人に寄り添える持続可能な交通体系の構築
Plan(事業概要・計画)	
<p>○智頭町地域公共交通計画を基に新たな交通体系の構築や共助交通の導入に向けた組織づくりの検討</p> <p>○次世代IP告知端末×AIデマンドバスサービス外部連携によるAIデマンドバス実証実験の実施</p>	

R2年度(11月末に実績見込を記入)

Do(実行)	R2実績額				7,512,100円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	関係団体との意見交換・課題抽出	団体	11	9	10	91%
②	AIデマンドバス実証実験実施	地区	0	2	2	-
③						
実施内容	<p>○共助交通導入に向けた運営組織の方向性等の検討(鳥取大学・各種交通事業者・地域自治組織等との連携)</p> <p>○土師・那岐地区をモデル地区としてAIデマンドバス実証実験を10月に実施</p>					

R2年度(11月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>○共助交通導入に向けた関係者との協議により、組織体制の方向性が見いだされた。(運行イメージ・計画)</p> <p>○AIデマンドバスサービスの外部連携の確証のほか、実装するうえでの課題等が分かった。(予約登録方法等)</p>					

R2年度(11月末に記入)

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由: 地域公共交通計画に掲げた姿の実現に向けた取り組みを積極的に行っている				

R2年度(11月末に記入)

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<p>○共助交通組織の立ち上げや運営方法等について引き続き関係団体と協議を行い、令和3年度の組織体制構築を目指す。また、町営バスについてはスクールバス化、スクールバル利用時間外での活用方法を検討する。</p> <p>○IP告知端末配備状況に合わせて実証実験を行い、住民・ドライバーニーズの把握、端末の操作性向上を図る。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	行政手続きのスマート化	所属	総務課	SDG s	11
事業（細目）名	行政情報システム推進費	事業番号	1517		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	② 環境整備	事業番号	新規	連番
					II-8

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	テレワーク環境整備と行政手続きのスマート化
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区拠点テレワーク環境整備 ・テレビ会議システムの導入 ・電子申請システムの有効活用

R2年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R2実績額		18,704,400			
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	テレワーク環境整備	施設	0	6	6	-
②	テレビ会議システム導入	箇所	0	7	7	-
③	電子申請システム取扱事務数	件	4	5	5	125%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク環境整備及びテレビ会議システム導入事業の実施 ・若手職員行政情報勉強会において電子申請システムを取り上げる 					

R2年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク環境整備及びテレビ会議システム導入事業発注済み（12/25まで） ・若手勉強会の開催（2回） 					

R2年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：各地区拠点施設に環境整備を予定どおり行うことができた。				

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<p>各地区拠点のネットワーク環境を活用した行政手続きの分散化、遠隔授業の実証実験を行う。 電子申請システムの更なる推進を全庁的に行う。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町有財産の適正な管理	所属	総務課	SDG s	11
事業（細目）名	財産管理費	事業番号	1007		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	② 環境整備	事業番号	新規	連番
					II-9

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	町有財産の適正な管理と、PFI導入検討による民間活力の活用
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ FM委員会開催（公共施設管理及び、PFI検討） ・ 個別施設計画の策定と公表 ・ 固定資産台帳の整理

R2年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R2実績額					0円
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)	
① 個別施設計画策定	施設	3	50	28	933%	
② PFI検討数	件	0	1	1	-	
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ FM委員会の開催 ・ PFI検討に関して各部署から1名検討委員を選出 					

R2年度（11月末に記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ FM委員会を2回開催 ・ PFI研修（リモート）及び公共施設逆プロポーザル（リモート）に参加 ・ PFI検討委員会を開催（10月、1月） 					

R2年度（11月末に記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： 個別施設計画を全部実施できなかったため。				

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<p>PFI事業の具体的検討を行い、スモールスタートで1施設から取り組んでみる。</p> <p>FM委員会の定期的な開催を行い、公共施設管理の状況を把握する。</p> <p>町内企業（ルリエ等）との意見交換、サウンディングテスト実施等を模索する。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公共料金のコンビニ納付事業	所属	税務住民課	SDGs	9
事業（細目）名	公共料金のコンビニ納付事業	事業番号	1028・1031		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	連番	Ⅱ-10

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	公共料金のコンビニ納付
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 公共料金のコンビニ納付の実施

R2年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R2実績見込額					2,167,550円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
①	公共料金のコンビニ納付	円	0	2	0	-
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共料金のコンビニ納付の実施が可能になるための環境整備 					

R2年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	R2年度は環境整備のみ実施したため、CHECKはR3年度から実施。					

R2年度（3月末に記入）

評価		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価		評価理由：				

R2年度（3月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
納付件数の把握により、利便性向上や収納率向上を分析する。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各種証明書のコンビニ交付事業	所属	税務住民課	SDG s	9
事業（細目）名	各種証明書のコンビニ交付事業	事業番号	1028・1031		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	連番	Ⅱ-11

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	各種証明書のコンビニ交付事業
Plan(事業概要・計画)	・各種証明書のコンビニ交付事業

R2年度（3月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R2実績見込額				0円
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
① 各種証明書のコンビニ交付	件	0	0	0	-
②					
③					
実施内容	・各種証明書のコンビニ交付環境整備をR3実施				

R2年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	R2の実績がないためCHECKはR3から実施。					

R2年度（3月末に記入）

評価		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価		評価理由：				

R2年度（3月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	町民の健康づくりのための生涯スポーツに取り組める環境	所属	教育課	SDG s	3
事業（細目）名	スポーツ推進事業	事業番号	1211		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安心・安全に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	新規	連番
					Ⅱ-12

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	スポーツの指導・普及・事業の企画・運営を行い、スポーツを通じた活動を促進していく。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会や総合型地域スポーツ（スポねっとちづ）と連携した体育事業等の活動を行う。 ・ 子どもから高齢者まで幅広い方が気軽に運動と触れ合っていたり機会を設ける。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			1,120,550	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	スポーツ推進委員協議会定例会	件	12	10	8	83%
②	体育事業への参画	件	3	3	0	100%
③	ニュースポーツ大会・体験会の開催	件	3	3	0	100%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースポーツの紹介チラシを作成（町内全戸、小中学校、高等学校配布） ・ おうち体操チラシ（町内全戸配布） ・ ニュースポーツの指導（2件） 				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体育事業の中止やニュースポーツ大会・体験会の実施ができなかった。 ・ 「子どもから高齢者まで楽しめるニュースポーツの紹介」チラシを作成。町保有のニュースポーツ種目に関する等が集約された一覧表が完成。 ・ 「気軽に始めようおうち体操」チラシを作成。コロナ禍においても自宅で気軽に取り組める体操を広報、推進している。 				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 催事開催に代わる健康増進の在り方とスポ推員の活用を模索したい。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍においても気軽に取り組める運動の推進やスポーツイベントの開催方法を検討し、立案・企画していく。 ・ 研修会参加等によるスポーツ推進委員としての資質向上を図る。 ・ 地域と密着した活動を深めながら町民の健康づくりを推進する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	町民の健康づくりのための生涯スポーツに取り組める環境	所属	教育課	SDG s	3	
事業（細目）名	体育振興費	事業番号	1212			
総合計画	基本理念	Ⅱ 安心・安全に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	新規	連番	Ⅱ-12

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	各団体と地域・学校が連携して各種体育事業を展開することで町民の健康づくり、スポーツ活動の充実を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会を通じた各種体育大会等の開催委託及び体育協会の活動支援によるスポーツ活動の充実を図る。 ・ 総合型地域スポーツクラブ（スポねっとちづ）の活動支援による町民のスポーツ環境の充実を図る。 ・ 町スキー祭を開催し、本町の子どものレベルアップを図る。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額					5,354,781
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	体育協会理事会	件	3	3	3	100%
②	総合型地域スポーツクラブ（スポねっとちづ）運営委員会	件	5	6	5	120%
③	町スキー祭	人	0	50	35	0%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会委託事業各種体育大会を新型コロナ対策を講じたうえで実施。（3競技実施、1競技新型コロナ感染拡大により中止） ・ 体育協会、総合型地域スポーツクラブ（スポねっとちづ）の加盟団体の活動支援を実施。 ・ 町スキー祭をわかさ氷ノ山スキー場を会場に新型コロナ対策を講じたうえで実施。 				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会委託事業の町民体育祭は新型コロナ感染拡大防止のため、開催を中止とした。 ・ スポねっとちづ主催のチャレンジ教室は新型コロナ感染拡大防止のため、開催を中止とした。 ・ 体育事業を展開するうえで新型コロナ対策を講じたうえで事業内容（開催規模等）を見直し、実施した。 				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：各団体の活発な活動展開を支援し、スポーツ振興を進めたい。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育事業を展開していくうえで町民が安心、安全に実施できることを前提に、競技の見直しを含め、内容を検討していく。 ・ 各団体と地域、学校が連携して体育事業を展開することで町民の健康づくり、スポーツ活動の充実、コミュニティの形成を図る。 ・ 各種スポーツ団体の活動支援を継続して行い、体育振興を促進する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	町民の健康づくりのための生涯スポーツに取り組める環境	所属	教育課	SDG s	3	
事業（細目）名	体育施設管理費	事業番号	1217			
総合計画	基本理念	Ⅱ 安心・安全に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	新規	連番	Ⅱ-12

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	適宜、必要な修繕・改修を行い、施設の機能維持及び長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設の緊急性の高い部分を修繕し、施設の機能維持及び長寿命化を図る。 ・社会体育施設の整備、環境の充実に努め、利用促進を図る。 ・経年劣化の進んだ社会体育施設備品の更新を行う。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額				27,064,079		
活動実績を示す指標			単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	維持管理する体育施設	施設	5	5	5	100%	
②	修繕による適正な施設運営	施設	2	2	4	100%	
③							
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・温水プール自動制御器機、誘導灯器具、冷温水循環ポンプ取替修繕、スライドドア修繕を実施。維持管理、故障による緊急性を要する修繕を実施。 ・月に1回以上施設巡回を行い、環境整備を実施。勤労者体育センター等の維持管理、経年劣化等による緊急性を要する修繕を実施。 ・経年劣化による温水プールの備品を更新。 						

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ団体及び町民の施設の利便性向上のため、適正な修繕及び維持管理を行った。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：費用対効果を考慮しつつ多くの町民が施設利用できる環境を整えたい。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・NSIリプルの利活用を拡充させるため、スポーツ用品等の備品の更新を行い、会員及び利用者数の増加を図る。 ・各種スポーツ団体及び町民の施設の利便性向上のため、総合運動場の施設修繕を実施する。 ・施設の維持管理に要するコストを削減するため、総合運動場等の電力を新電力への切り替えを進める。 	